

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立米水津小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

「学び」の有機的な結びつきの構築

～授業だけでなく、学校・家庭・地域での「学び」を結びつけ、自己指導能力の育成につなげる取組～

授業における「学び」

◆互いに関わり合う学習

授業では「ガイド学習」や「グループ学習」を多く取り入れている。交流を行う中で、考えを深めたり、新たな気づきを得る様子が多く見られる。

◆課題と向き合う個別学習

授業では個別に課題と向き合い、各自の苦手を克服するための取組も行っている。

安心安全な集団づくり

◆「表現の場」としての集会

「きらきら集会」: 仲間のよい所を見つけ、全校の前で紹介し、紹介された児童は感想を発表する。

「ぶりっこ集会」: クラスの生活目標を全校で交流する。

※それぞれの集会では発表者は原稿を見ずに発表させ、集会の最後には「表現力の育成」を目的として自発的な感想発表の場を設定し、希望する児童には感想を述べさせている。

○感想発表は「即興」であるため、「思考力・判断力・表現力」の育成にも効果が期待できる。

○仲間の前で認められる経験になるため、自己肯定感の醸成だけでなく、安心安全な集団づくりにもつながる。

◆人間関係づくりプログラム

家庭の関わり

◆目標達成へ向けた励まし

キャリアノートを活用し、児童への励ましを書いてもらう。

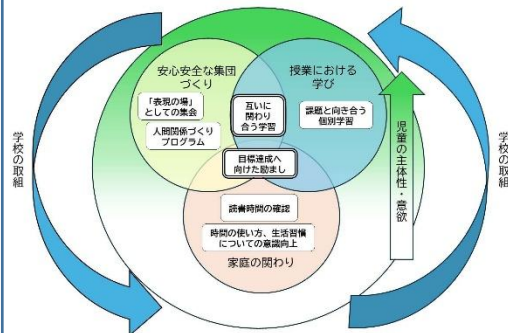
◆読書時間の確認

週末は読書時間の確認も家庭が行っている。

◆生活振り返り週間

時間の使い方、生活習慣について児童と保護者の意識向上を図る取組、生活時間についてのコメントを学期に1回保護者が用紙に書く。

「学び」の有機的な結びつきの構築



互いに関わり合う学習



課題と向き合う個別学習



「表現の場」としての集会



「学び」の有機的な結びつきの構築

